

○宮前ボッチャ倶楽部の活動報告を致します。

最初に、当倶楽部への審査委員からのコメントに関する取組について、各項目事に説明いたします。

○ボッチャを介した他分野とのコミュニティー活動を推進しておりますが、各諸団体の新たな取組への消極的姿勢に課題が残ります。

○ボッチャ実習会は障害の有無に関わらずに実施しており、障害者の参加も受け入れております。

○川崎ボッチャチームとの交流試合の機会に恵まれ、高度なボッチャ技術を身近で学習する事が出来ました。

○各種交流親睦イベントは、恒例化しシニア世代の健康と仲間づくりに効用を齎し、好評を博しております。

特に「東京湾クルージング・物流基地の視察」は、他のサークルの皆さんにお薦め出来る無料企画です。

○全団体共通コメントについては、倶楽部HPを立ち上げ、活動情報発信に有効活用しております。

その他の項目に関しては、資金支援制度の主旨に基づ

いた運営体制の確立に努めております。

以下、宮前ボッチャ倶楽部活動報告です。

○活動の原点は「シニア世代の交流仲間づくり」です。

○超高齢化社会を迎え、高齢者特有の生活習慣改善の課題があります。

シニア諸先輩たちが長年に亘って構築した

「交流仲間づくり」のノウハウの継承と、その実践を基本に据えての活動推進です。

○共通認識として、倶楽部所属会員、総勢37名。

平均年齢78歳のシニア世代です。年齢に捉われずに日々楽しみを見つける自由闊達な心の持ち様を大事にしております。

○活動内容は、ボッチャスキルアップ実習と地域に根差したボッチャ普及推進活動。そして交流仲間づくりの各種親睦イベントの実施です。

○宮前ボッチャ倶楽部活動の相関図です。

シニア交流仲間の登録会員が100名を超えております。

その中からボッチャ倶楽部が誕生しております。

そして、その会員たちが地域の他のサークルと密接な関係を築いております。

宮前老人福祉センターの高齢者向け企画と連携したボランティア交流があります。

●そして、今年のトピックスをご紹介します。

○シニア世代の情報誌「楽笑（らくしょう）特別号」に、いきいきグループとして、紹介掲載されました。

○地元神奈川新聞にボッチャを介した交流仲間づくり活動の紹介記事が掲載されました。

○長年続けております地域コミュニティーづくりの「宮崎台元気体操」が川崎市勢要覧」100号の取材を受け、活動紹介記事が掲載されます。

○そして、当倶楽部会員の編成チームが、

「川崎市長杯ボッチャ大会」と「日刊スポーツシニアボッチャ大会」のビック大会で、優勝を成し遂げ、BOCCIA JAPAN CUP への出場権を獲得しました。

○倶楽部員が各種ボッチャ大会に出場参加し共有す

る課題あります。

地元宮前スポーツセンターを競技会場に、日頃の練習成果を競い合うボッチャ交流大会の開催を願望し、その運営スタッフ強化策も併せて推進しております。

以上で説明を終わります。

ご清聴ありがとうございます。